第２回目 障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会について

・開催日　１２月２３日
・会場　　十勝総合振興局合同庁舎　４階Ｃ会議室
・参加者　別紙のとおり

・委員会内容について

（１） 委員会における取組の提案について

一般企業、警察に対してアンケートの実施について企画し、様式やアンケート方法について議論を行った。

（２） 委員や事務局からの意見について

中川委員より

日常では様々なものが便利に変わっていくが、中途失聴者としては不便になってしまったものも中にはある。機械や道具などの取扱説明書が音声案内のみだとわかりづらくなってしまう。また、聴覚障害者のための福祉サービス（要約筆記など）について、認知が低いというのも課題である。

長谷川委員より

弁護士の大会である人権大会が長崎県で開催され、テーマとなった障がい者のインクルーシブ教育に関しての情報共有。現在、学校は普通学教、特別学級に分けられているが、その行為は障がい者との接し方の機会を奪ってしまっている。接し方をしらないまま、大人になってしまう。そのため子どものときから障がい者との接し方を学べるよう、インクルーシブ教育（統合教育）が理想として掲げられている。